

平成 20 年 3 月 31 日

各 位

会 社 名 ケネディクス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 川島 敦
(コード番号：4321 東証一部)
問 い 合 わ せ 先 取締役 CFO 吉川 泰司
電 話 番 号 (03) 3519-2530

コミットメントラインの設定について

当社は平成 20 年 3 月 31 日付で、三菱東京 UFJ 銀行をアレンジャーとするシンジケーションにより、213 億円のコミットメントラインを設定いたしましたのでお知らせします。

記

1. コミット金額 21,300,000,000 円
2. コミット期間 平成 20 年 3 月 31 日～平成 21 年 3 月 30 日
3. 資金使途 不動産取得資金
私募ファンドや REIT に提供する物件の、自己勘定による先行取得資金に充当します。
4. アレンジャー 三菱東京 UFJ 銀行
5. コ・アレンジャー 三菱 UFJ 信託銀行
6. エージェント 三菱東京 UFJ 銀行
7. 特 徴 等 取得物件を特定しないコミットメントラインであり、機動的な物件取得に寄与します。

本件 1 年間のコミット期限到来に伴う契約の更新ですが、昨年の組成において、①既存物件の購入に使用するための融資枠 (188 億円)、②建物の建設を目的とした土地購入のための開発用融資枠 (106 億円) といった目的の異なる融資枠を設定しました。

今般、各々の枠がコミット期間の終了を迎えるにあたり、融資枠①が更新の対象となったものですが、サブプライム問題に端を発した不安定な金融情勢が続くなかにもかかわらず、新規の取引先を含む多くの金融機関にご参加いただき、213 億円への増額を実現することができました。(尚、融資枠②においては、複数回にわたって 2 年間の期限を設けた借入を実行しています。それぞれの借入は、資金使途とした開発案件が終了する平成 21 年 12 月まで順次返済期限が到来するため、当該契約の継続についてはその時点であらためて検討することとなります。)

当社では、別途三井住友銀行をアレンジャーとするコミットメントライン 410 億円も有しており、足下の不動産市場においては既存物件の流通拡大も期待されるなか、今回増額となった本契約をあわせた豊富な資金枠を活用し、一層の収益機会の獲得につなげていく方針です。

以上